

TOSAギャラリー

となりの
ニューヨーク

木戸孝子



私の働くスタジオ「ハックス・フォト」があるのは、マンハッタンからメトロノースという列車に乗って三十分ほど北上した、ウエストチェスター郡のマウントバーノンです。ちなみにこのマウントバーノンは、有名なハリウッドスターの、デンゼル・ワシントンの故郷でもあります。

スターでソーセージを焦がして、ほんの少し煙が出てもために、煙探知機が作動しアラームが鳴り響き、あっという間に消防車到着し、ボスは、間違って消防車を出動させた、という切符を切られ、罰金を払わなければいけません。

スタジオを訪れたあるアーティストは、「君たちは本当にクレイジーだよ。だからとても信用できるよ」と言っていました。クレイジーという英語は、良い意味にも使えるのです。ここまでやるか！というほど、妥協を許さず細部にまでこだわりの良い仕事をしている、という意味で言っていました。

トシヨップというソフトを使い、コンピュータの画面上でクリックしながら、みを取り除くことができ、失敗したら戻ってやり直すこともできますが、スポッティングの場合は、すべて手作業で、基本的には失敗は許されないので、熟練した技術が要求されます。失敗すると、プリンターたちが何日もかけて

くないから入ったばかりの下っぱがやらないといけない、というものでした。なので、まさかその時の経験が活かされて、ニューヨークで就職することになるとは思ってもみませんでした。その時にはわからなくても、前向きにひとつの道を追求していく限り、無駄なことはひとつもないでしょう。

クレイジーな仕事



スタジオの外見はただの倉庫のようで、看板もサインもありません。しかし、いったんドアを開けると、中は厳重な防火防犯設備が調い、二十四時間、温度湿度が一定に保たれている場所です。美術品として、一枚百万円、二百万円ほど売れているような写真や、そのネガがた

スタジオでソーセージを焦がして、ほんの少し煙が出てもために、煙探知機が作動しアラームが鳴り響き、あっという間に消防車到着し、ボスは、間違って消防車を出動させた、という切符を切られ、罰金を払わなければいけません。

ここで私はスポッティングという、仕上げ、修正の仕事を専門にやっています。スポッティングとは、出来上がった写真に焼き込まれたネガ上のごみや傷を、ひとつひとつ消していく作業です。細い筆と専用のインクを使います。

この技術は、十四年前、東京のフォトラボで仕事を始めた時に教わりました。スポッティングに対する当時の印象は、あまりに細かい作業で誰もやりた

きど たかこ 1970年、中村市(現四万十市)生まれ。フリーランスフォトグラファーとして、ムック本シネマキッズなどの仕事を続け、2002年渡米。ニューヨークのインターナショナルセンター オブ フォトグラフィーで学ぶ。ニューヨーク在住。



The Ordinary Unseen #14 (Bronx, NY)

高知新聞(夕刊) 2007年11月1日

となりのニューヨーク ークレイジーな仕事ー

私の働くスタジオ「ハックス・フォト」があるのは、マンハッタンからメトロノースという列車に乗って三十分ほど北上した、ウェストチェスター郡のマウントバーノンです。ちなみにこのマウントバーノンは、有名なハリウッドスターの、デンゼル・ワシントンの故郷でもあります。

スタジオの外見はただの倉庫のようで、看板もサインもありません。しかし、いったんドアを開けると、中は厳重な防火防犯設備が調い二十四時間、温度湿度が一定に保たれている場所です。美術品として、一枚百万円、二百万円ほどで売れていくような写真や、そのネガがたくさん保管されているからです。

一度、同僚のシモンがトースターでソーセージを焦がして、ほんの少し煙が出てしまったために、煙探知機が作動しアラームが鳴り響き、あっという間に消防車が到着し、ボスは、間違っ消防車を出勤させた、という切符を切られ、罰金を払わなければいけませんでした。

スタジオを訪れたあるアーティストは、「君たちは本当にクレイジーだよ。だからとても信用できるよ」と言っていました。クレイジーという英語は、良い意味にも使えるのです。ここまでやるか!というほど、妥協を許さず細部にまでこだわり良い仕事をしている、という意味で言っていました。

ここで私はスポッティングという、仕上げ、修正の仕事を専門にやっています。スポッティングとは、出来上がった写真に焼き込まれたネガ上のごみや傷を、ひとつひとつ消していく作業です。細い筆と専用のインクを使います。

デジタル写真の場合は、フォトショップというソフトを使い、コンピューターの画面上でクリックしながらごみを取り除くことができ、失敗したら戻ってやり直すこともできますが、スポッティングの場合は、すべて手作業で、基本的には失敗は許されないのです。熟練した技術が要求されます。失敗すると、プリンターたちが何日もかけて焼いた美しいプリントを破壊してしまうこととなります。細かい作業をしながら、大胆さが必要です。

この技術は、十四年前、東京のフォトラボで仕事をし始めた時に教わりました。スポッティングに対する当時の印象は、あまりに細かい作業で誰もやりたくないから入ったばかりの下っぴがやらないといけない、というものでした。なので、まさかその時の経験が活かされてニューヨークで就職することになるとは思ってもみませんでした。その時にはわからなくても、前向きにひとつの道を追求していく限り、無駄なことはひとつもないでしょう。